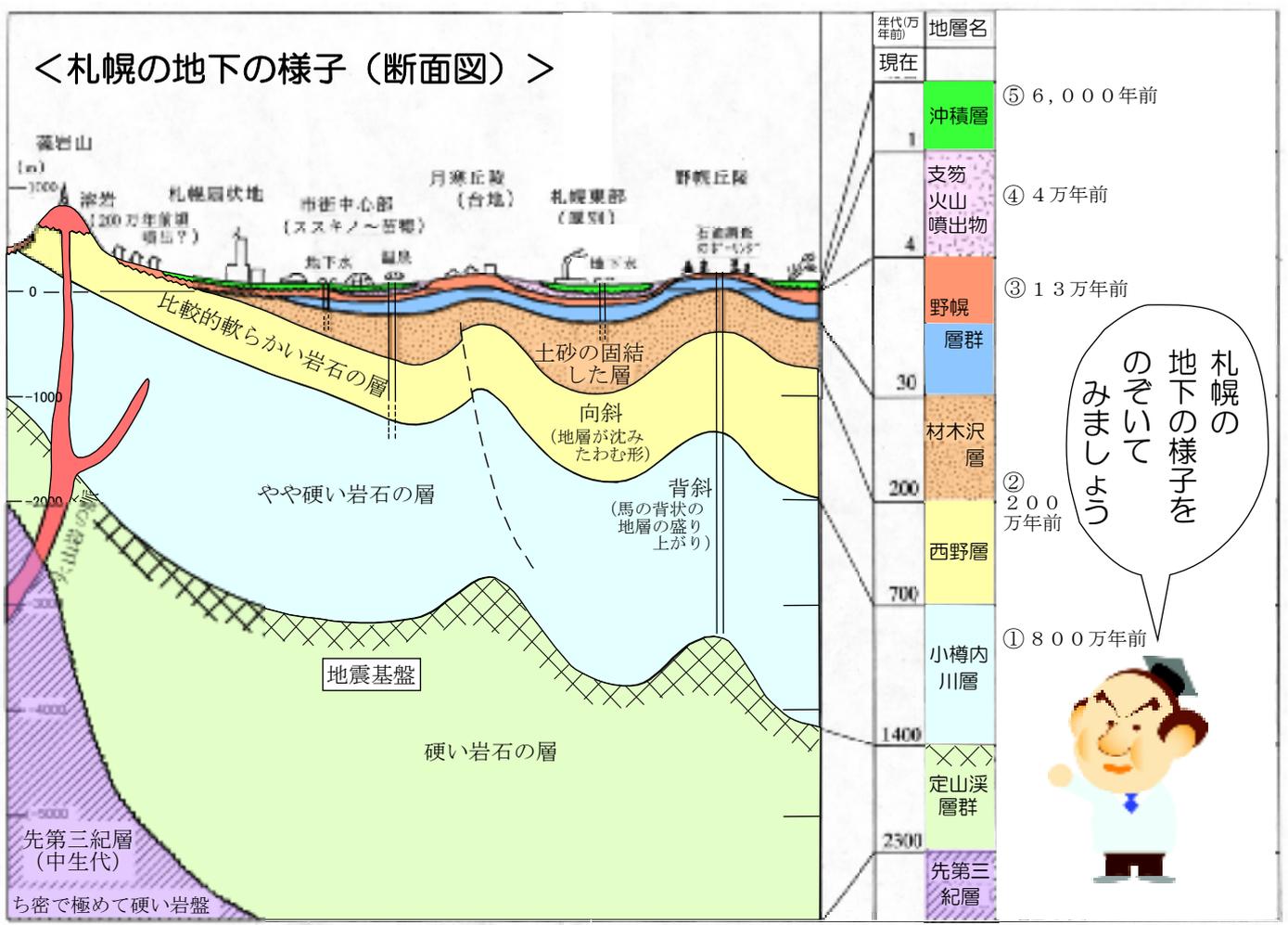


<札幌の地下の様子（断面図）>



札幌の地下の様子をのぞいてみましょう



① 800万年前（深い海と海底扇状地）

<札幌1,000万年史>

札幌付近のおおまかな地形や地質は、過去1,000万年の間に作られました。地球の年齢46億年を一日にたとえると、約3分間のできごとです。でも、この3分間に、手稲山などの西南山地が火山として噴火したり、東西からの押し合う力が働いたり、海水面が上がったり下がったり、巨大噴火によって支笏湖が誕生したり、多くのイベントがありました。

特に、300万年前から、日本海の東縁（サハリン～北海道西縁沖～新潟沖）で、東西からの押し合いが活発になり、札幌付近の地下構造の形成に影響を与えました。



800万年前の札幌は深い海の底でした。定山溪付近では火山活動があり、水中火砕流の堆積などによって札幌の地盤が形成された時期です。夕張・日高方面の山脈の川が海底扇状地を形成し、西へ広がっていきました。